

もばら



茂原市マスコットキャラクター
モバリん

まちづくり条例

だより

No. 15

自ら考え、自ら参加し、ともに作りあげていくという「共生」と「共創」のまちづくりを進める上で、市民、行政、議会などの「まちづくりの担い手」が共有する基本的なルールである「まちづくり条例」について検討しています。

まちづくりに関するアンケート(保護者対象)結果の概要をお知らせします

自治基本条例を考える市民の会では、これからのまちづくりを担う子どもたちの保護者の皆様を対象に、今後のまちづくりについてのご意見をお伺いするアンケートを実施し、224名の方から回答をいただきました。

ご協力いただいた皆様に、厚くお礼申し上げます。

今月号では、アンケートの集計および分析結果の概要をお知らせいたします。詳細につきましては、自治基本条例を考える市民の会ホームページをご覧ください。

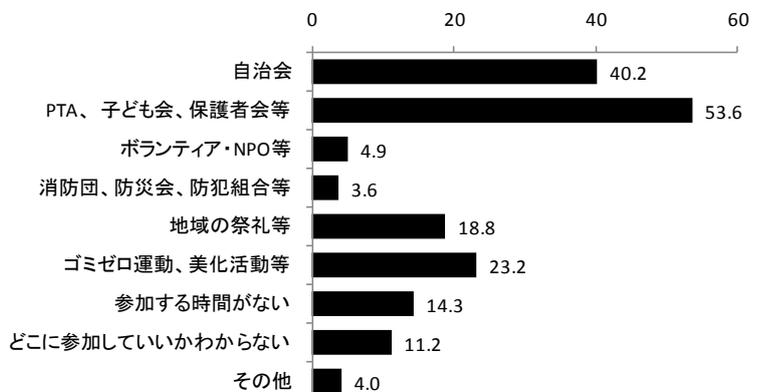
<http://www.city.mobara.chiba.jp/kikaku/jichi/pi.htm>



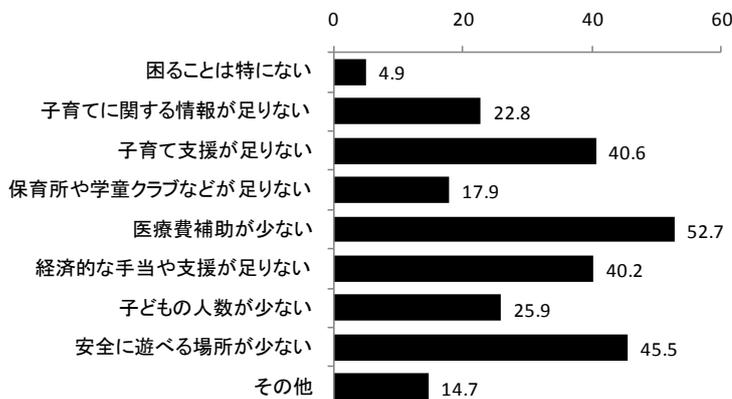
1. まちづくりへの参加状況(複数回答)

「PTA、子ども会、保護者会等」への参加が最も多く(53.6%)、次いで「自治会」(40.2%)、「ゴミゼロ運動、美化活動等」(23.2%)、「地域の祭礼等」(18.8%)という結果になりました。

「参加する時間がない」(14.3%)、「どこに参加していいかわからない」(11.2%)という声も寄せられました。



2. 子育てをされていて感じること(複数回答)



「医療費補助が少ない」という意見が最も多く(52.7%)、次いで「安全に遊べる場所が少ない」(45.5%)、「経済的な手当や支援が足りない」(40.2%)、「子育て支援が足りない」(40.6%)という結果になりました。

裏面もご覧ください